

大東市の実践報告 ～とことん住民主体～



大東市公認キャラクター
ダイトン

大東市保健医療部高齢支援課



大東市



- 平成28年7月末現在
- 人口 122,983人
- 高齢化率 25.61%(31,496人)
- 市の面積 18.27平方km
1/3が山間部

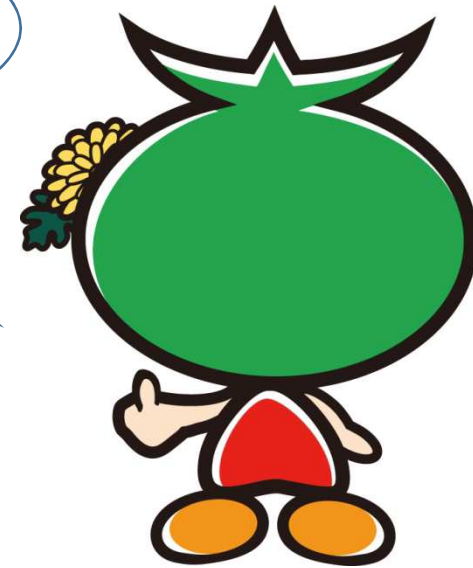
—今日の話—

1. 総合事業移行までのプロセス
2. やっててよかった♪地域(の力)づくり
3. これが肝心！自立支援の徹底
4. 今が絶好のチャンス！

とことん住民主体を加速する啓発PR

1. 総合事業移行までのプロセス

こんなことをやってきました



- 平成26年度前半 高齢支援課の職員向け
「地域包括ケアシステム」研修会
地域包括支援センター向け研修会
後半 住民、ケアマネジャー向け
「地域包括ケアシステム」研修会
総合事業に向けての検討会開始
第1回 事業所向け総合事業説明会
総合事業緩和型サービスへの意向調査
- 平成27年度前半 企画・財政 職員向け「地域包括ケアシステム」
研修会
総合事業のフレーム決定
緩和型サービス・通所C事業者募集開始
窓口マニュアル作成開始
後半 総合事業要綱作成開始
総合事業を含めた高齢者の暮らしの情報誌作成

このプロセスの他に

- 地域ケア会議に自立支援マネジメントの導入
- 生活サポート事業立ち上げ
- 新たな通いの場の立ち上げ
- 認知症初期集中支援チーム設置準備

2. やっててよかった♪

地域(の力)づくり



住民主体による高齢者の通いの場 「大東元気でまっせ体操」



- 月に3回以上実施している団体
大東市内93ヶ所、約1600名（H28.6月末）
- 虚弱高齢者が参加している（35%）
- 介護保険サービスを卒業した人達を受皿
- 通いの場があるから、要支援者がデイサービスに行かなくても大丈夫な人がいる
（総合事業開始前に要支援者110人が参加。要介護も52人）

大東[🐱] 元気でまっせ体操

効きまっせ 若うなりまっせ

寝たきりならんで儲かりまっせ



体操グループの立ち上げ支援の際に

「閉じこもりがちな人や虚弱な人、
心配な人を誘ってあげて」と繰り返し

地域の虚弱高齢者への呼びかけの大切さを伝えた！！



グループ内に虚弱な高齢者がいると、

単なる体操グループでなくなり、自然と

困り事を助け合ったり、見守り活動も始まった。

地域で 起こってきた事例

- ☆参加者がご近所同士なので、買い物に車を出す際には、虚弱高齢者に声をかけて一緒に行っている
- ☆ゴミ出しの時に、ついでに一緒に出してあげる
- ☆体操の曜日を忘れがちな人には、誘い合ってくる
- ☆理由なく欠席している人がいたら、帰りに家に様子を見に行くようにしている
- ☆小学生の下校時の見守り隊に虚弱高齢者も入るようになった

体操をきっかけにした地域のかづくりへの発展

生活サポート事業

家事援助

介護保険で認められているサービス



生活支援

窓ふき、大型ゴミ、
ペットの世話など

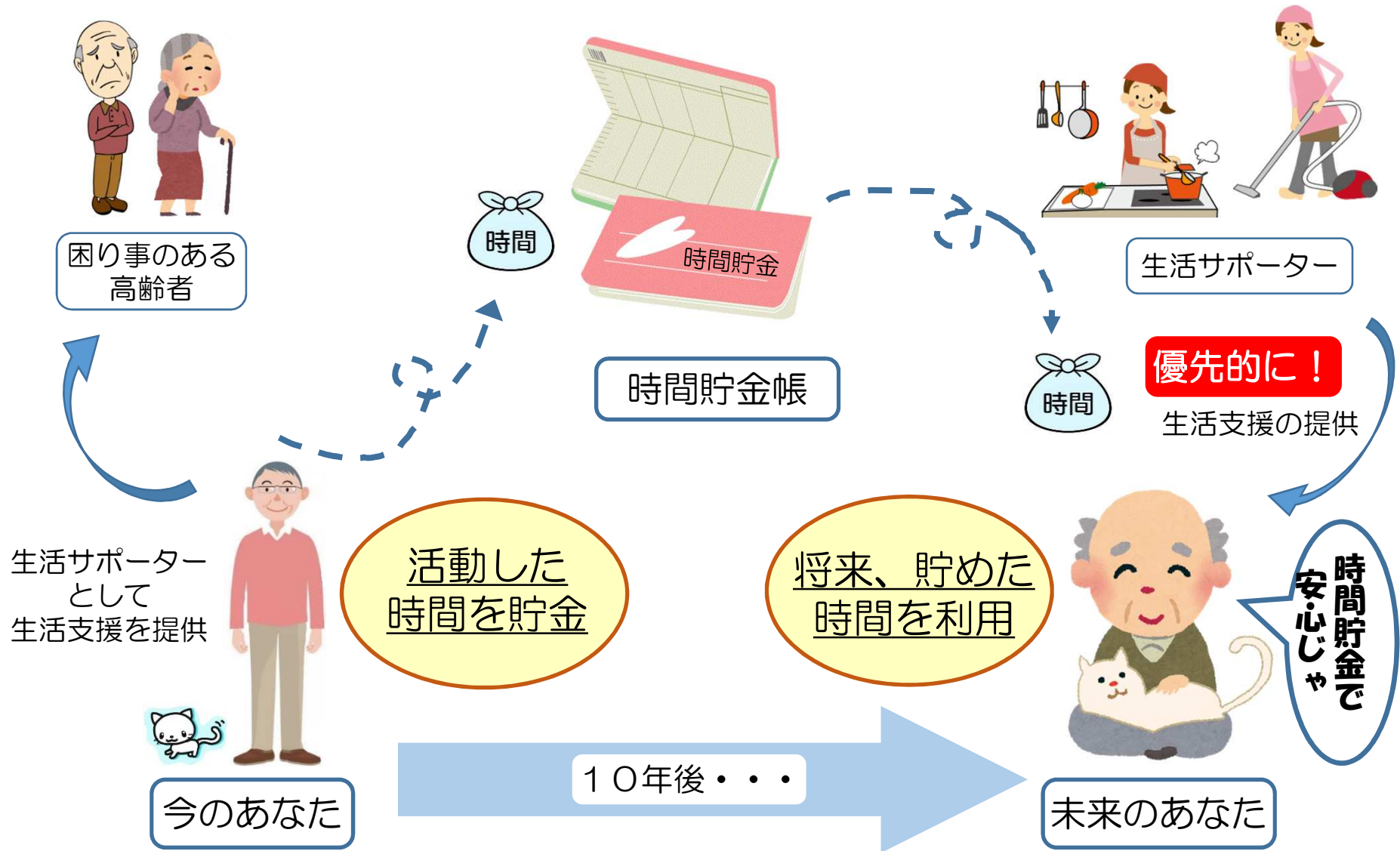


30分以内250円

○謝礼金

○時間貯金

時間貯金 ～今、動ける時間を将来のために貯金～



3. これが肝心！自立支援の徹底

いつまでも元気にならないデイサービス

いつまでもお世話し続けるヘルパーサービス

何か、おかしくないですか？

「自立支援」って

何を「支援」しているの？



通所サービスC:短期集中自立支援型サービス (訪問Cと通所Cの合体版)

また自分でできるようにするための道標を
リハビリ専門職と一緒に考え、本人が努
力するチャレンジコース

できるようにするための応援



自立できても、放っておくと悪化する

通所＝通いの場：大東元気でまっせ体操

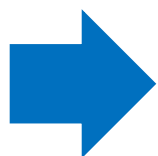
介護予防マネジメント(委託の包括が頑張るしくみ)

- ・卒業加算・・・自立支援マネジメントによりサービスから卒業した場合(1年以上サービス利用なし、**地域の見守りと地域活動参加が条件**)
- ・移行加算・・・訪問・通所サービス現行相当から緩和型サービスに移行した場合

卒業・移行加算は事業所毎の総人数で加算率が変動
39人以内100%、40～69人以内140%、
70～99人以内160%、100人以上200%
事業所全体で頑張るしくみ

みなし指定の更新条件(事業所の質の向上)

- 平成28年4月1日時点の利用者の30%以上(利用者が4人以下は20%)が平成29年度末までに緩和型サービスへの移行もしくはサービスの卒業をしていること
- 平成29年度末までに大東市が開催する自立支援研修会に4回以上、地域ケア会議の自立支援マネジメント事例検討会に2回以上出席すること



サービス事業所向け自立支援研修会を開催
大東市が目指す自立支援の理解
自立支援を実行するための技術提供

地域包括支援センターとケアマネジャー向け

地域ケア会議

- 自立支援マネジメント事例検討会
全居宅・包括が参加
今年度からは訪問・通所サービス事業所も参加

ケアマネジャー研究会

- 大東市の地域包括ケアシステムについての説明
- 大東市の総合事業についての説明

ケアプランチェック

- 総合事業の全プランを市のリハビリ専門職と保健師でケアプランチェック
- 各地域包括支援センターで月1回自立支援マネジメント会議

サービス提供事業所向け

新総合事業の説明会

- 包括、事業所向けに7回：H27.1月～
(全体向け・訪問向け・通所向け・サービスC・請求等)

住民向け

新総合事業の説明会

- 平成27年度末までは市職員による説明会を開催
区長、自治会長、民生委員児童委員、校区福祉委員、
介護予防サポーター向け
- 平成28年度からは地域包括支援センターが出前講座型で
開催
一般住民、サロンなど

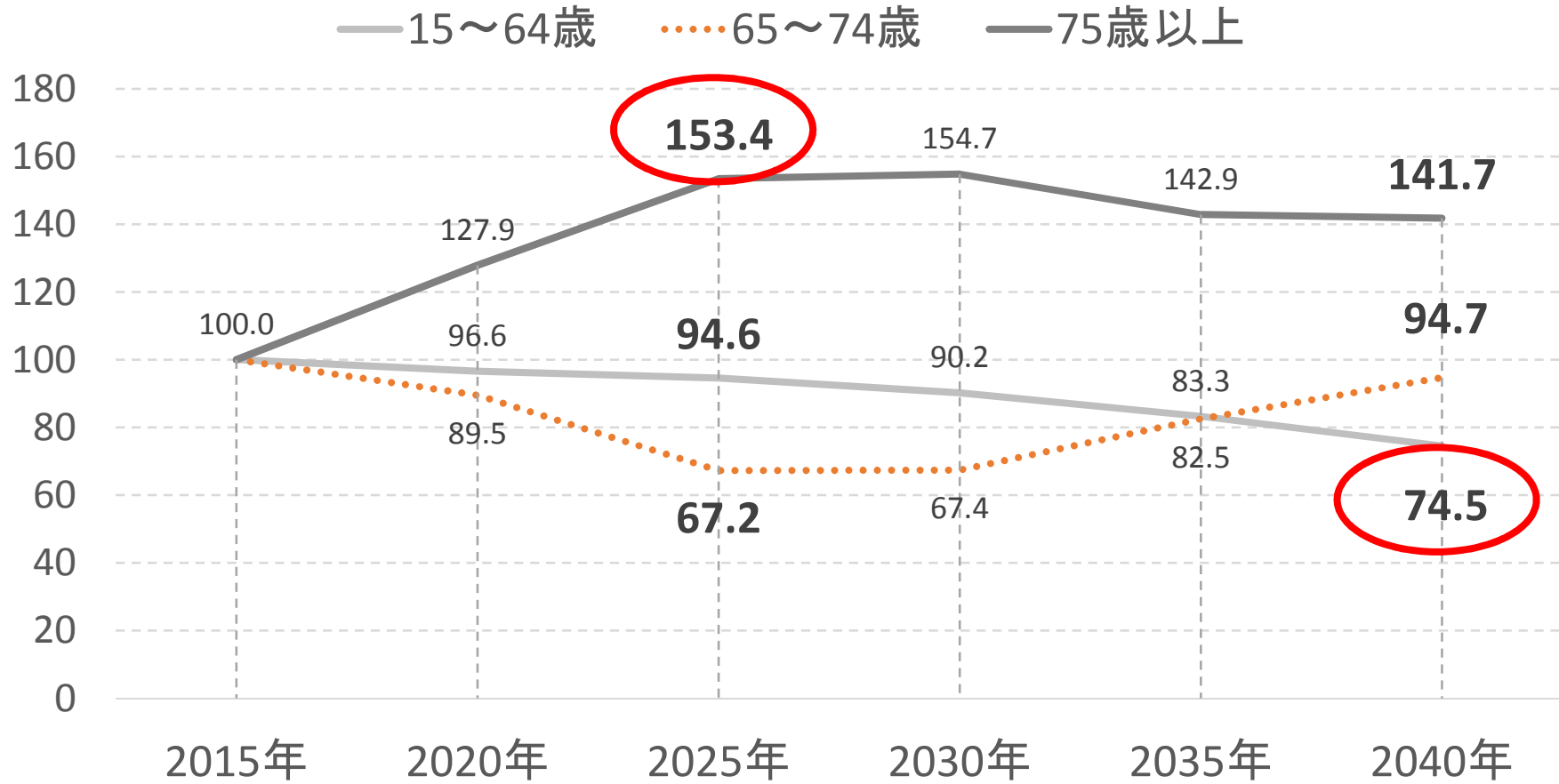
4. 今が絶好のチャンス！

とことん住民主体を加速する啓発PR



市民向けの説明会資料

【労働者人口の減少と後期高齢者の増加】

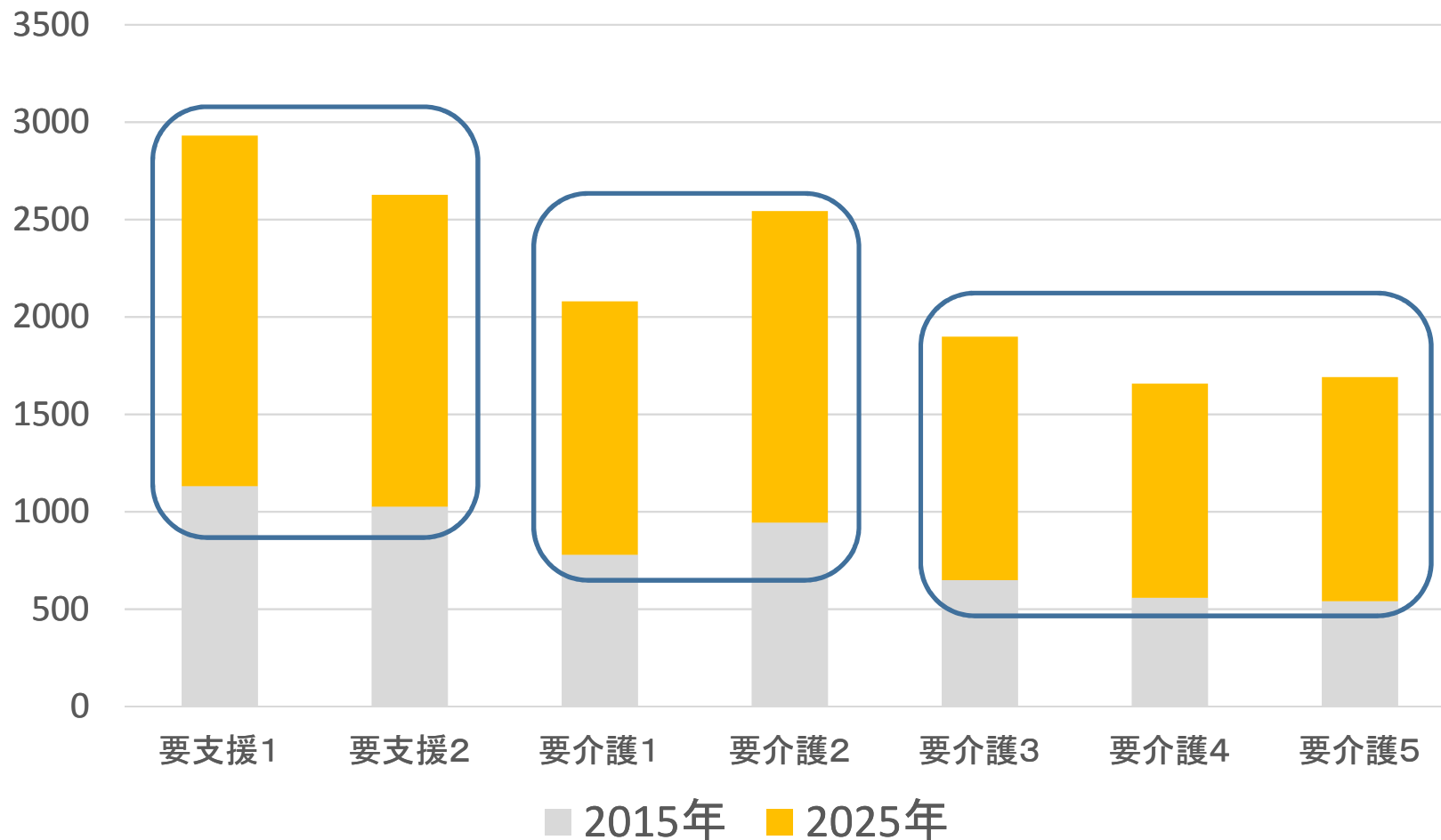


人口問題研究所：日本の将来推計人口のデータ

※2015年を100とした場合の推計値

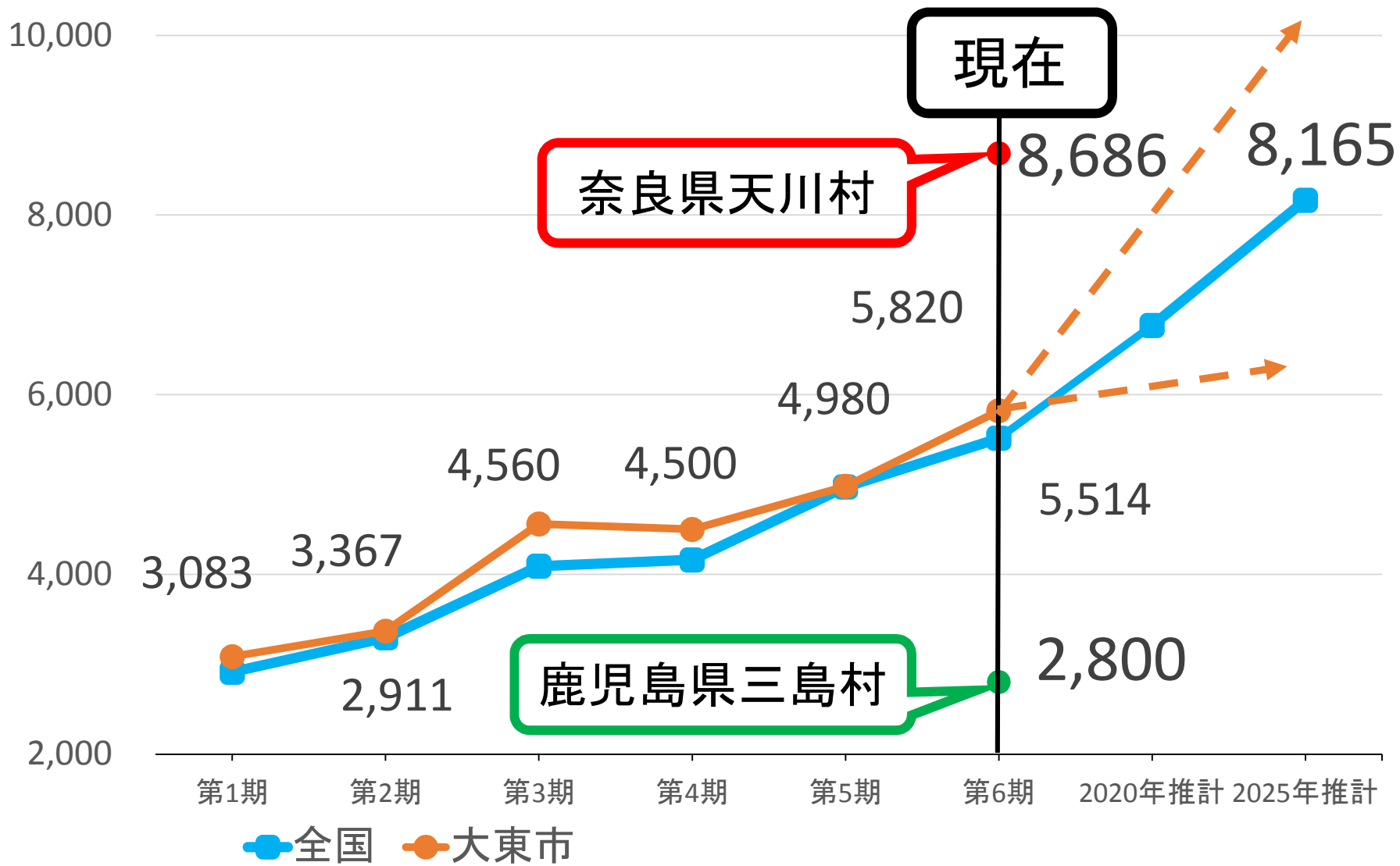
担い手不足の問題は明確に・・・

大東市 介護認定者の推移



軽度な方に対する、生活支援の担い手が不足していく！

介護保険料の推移と推計

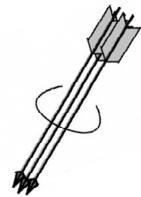


超高齢化社会に立ち向かうための方法

 ① 介護予防の強化：大東元気でまっせ体操の拠点を増やす

 ② 介護専門職以外の 新たな支え手の確保

 ③ 介護保険の上手な使い方をみんなが知る



がとても**重要**なります。

介護保険、調理など軽度者向け サービス見直しへ



厚生労働省は、介護保険制度で「**要介護1・2**」と認定された軽度者向けサービスを大幅に見直す方針を固めた。

具体的には、調理、買い物といった**生活援助サービスを保険の給付対象から外すこと**を検討する。膨らみ続ける社会保障費を抑えるのが狙いで、抑制額は年約1100億円、約30万人の利用者に影響が出る可能性もある。

2月にも始まる社会保障審議会で議論を開始。年内に改革案をまとめて、2017年度にも実施に移す。

厚生労働省の方針（1月20日）

④-② 生活支援の担い手の確保

全額自費なら・・・1回3,030円（軽度な方のヘルパー）



週1回利用すると・・・年間157,560円

でも

生活サポーター事業・・・1回250円

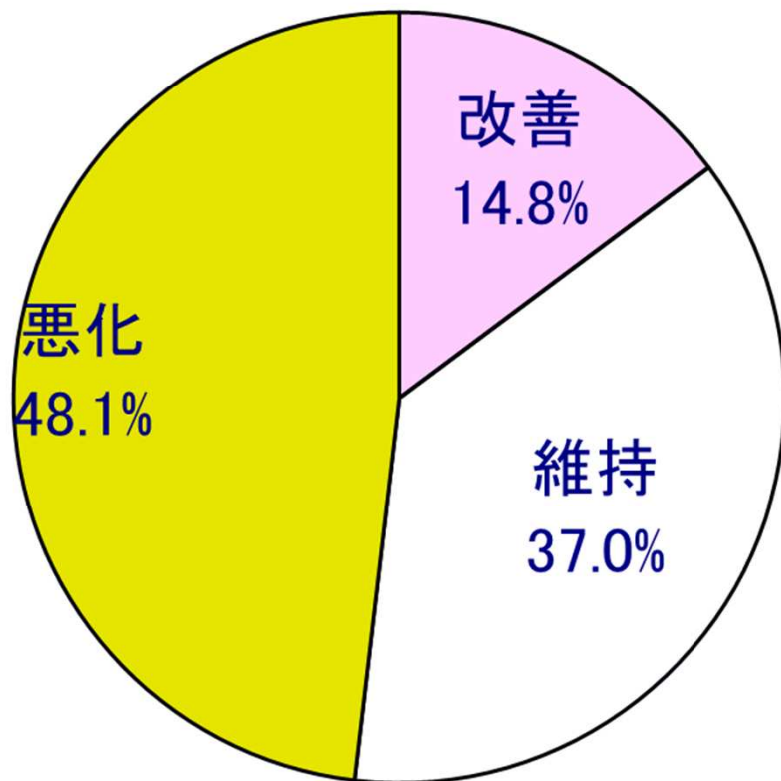


これからのために！今から地域の支え合い！

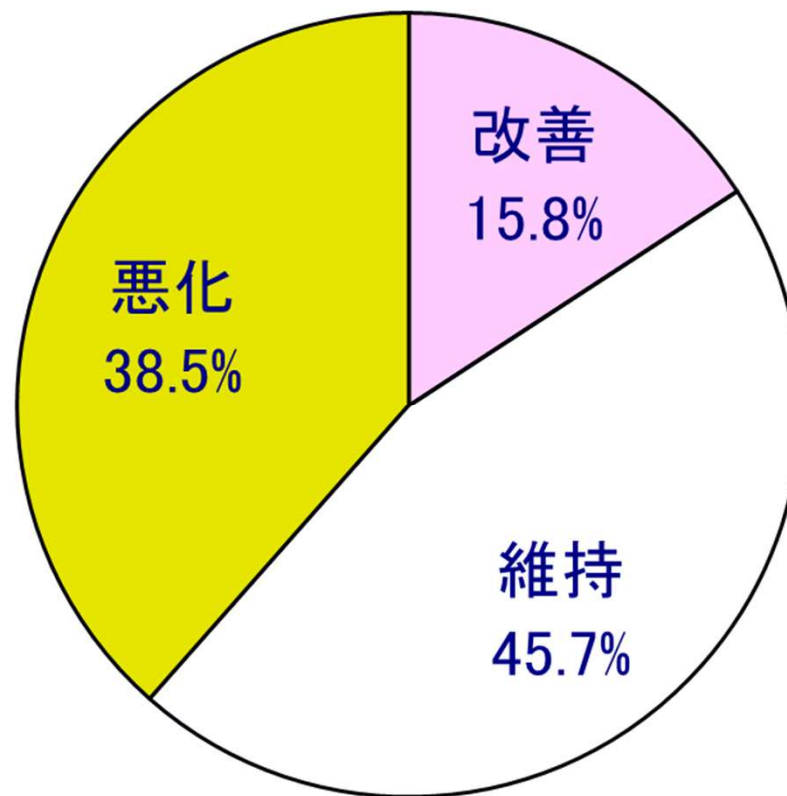
3年間、介護保険サービスを受けた利用者はどうなったの・・・

3年間介護予防通所・訪問介護利用者の変化

通所のみ利用者



訪問のみ利用者



□うち改善 □うち維持 □うち悪化

自分が、地域みんなが、そして…
子どもや孫が高齢者になっても
安心して暮らせるように！

大東元気でまっせ体操の拠点を増やす！
生活サポーターを増やす！
介護保険の上手な使い方を知る！
これにかかっています。

あなたは何ができますか？

何からやりますか？



地域包括ケアの構築には・・・

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進

行政は地域の活動を邪魔せずして、後押しできるか
住民の力を信じること
事業所、ケアマネ、住民に自立支援をどこまで本気で打ち込むか

やると決めればやれます！



ご清聴いただき、
誠にありがとうございました。

